



中津工業高校の歌

全 栗 堅作詞

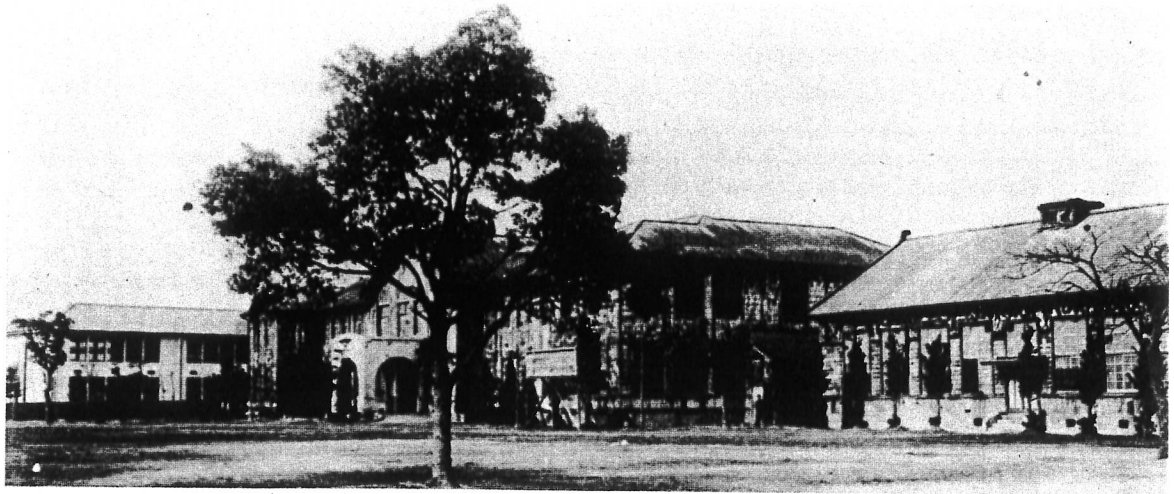
大分県立音楽大学作曲

朝雲映ゆる周防灘
 風よわかな水京
 あゝ白雲の意気燃え
 支愛花とかなり嘆く
 われらの中津工業に
 見よ躍進の気魂あり
 山園川の石清く
 沖代の野に幸は呼ぶ
 あゝ勤労を尊びて
 生産の歌はこぼれ
 われらの中津工業に
 見よ清新の雲あり
 扇の城に月澄みて
 徳(は)ゆかり 自尊の碑
 あゝ伝統の粹受けて
 民族の明日を担いで
 われらの中津工業に
 先よ学究の行手あり

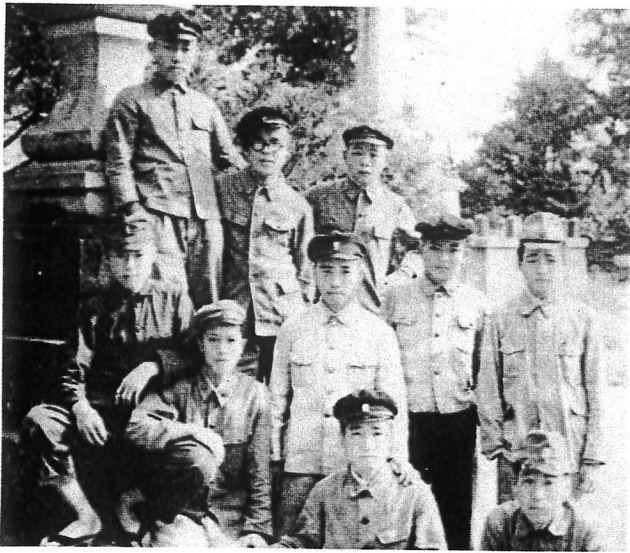
大分県立中津工業学校時代から中津第二高等学校時代へ



初代校長
福井 忠
(昭和19年～22年)



▲開校当時の本館校舎全景



▲機械科卒業生より

開校当時の生徒

▼冶金科卒業生より



第2回生
島沢 利則氏
(土木科卒)

「校庭の思い出」

大東亜戦争のまっただ中、心はずませ工業学校入学。ぞうり、足にゲートルを巻き真新しい背のうを担ぎ、三口の河原へ行軍し芝取りに励む。途中雨に降られ、背のうはベラベラになったものだ。

敵機に対する擬装のため校庭に芝を張る。そのうち食糧難になってからは芝をはぎ、唐芋畑に変えてしまった。そうしてできた芋のうまさも今でもなつかしく思い出す。

学徒動員、終戦、平和がもどってきて思う存分スポーツなどのできる昔の校庭にもどった。

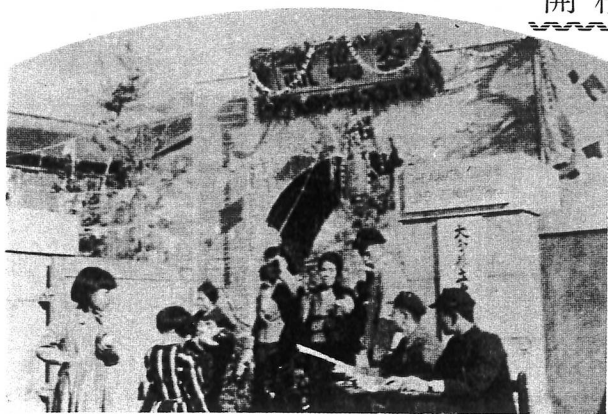


開校当時の職員 (昭和22年)



(左)	(左)	(右上)
小佐福柳梅辛湯中	田今山岩塩安	宇矢小松馬白
倉藤田田林島屋山	中成本尾田部	田川 川野内尾場見
先生先生先生先生先生先生	先生先生先生先生先生	先生先生先生先生先生
黒岩向自井中	竹永福末原	古大水中国川柏
田田野丸崎島	田岡永宗藤	川橋島春田野井
先生先生先生先生先生	先生先生先生先生先生	先生先生先生先生先生

開校祝賀会 (昭和23年)



▲さあ、いらっしゃい!



▲小学生で満員の盛況ぶり



▲化粧品の乏しい時代でした



▲宝くじの景品は?

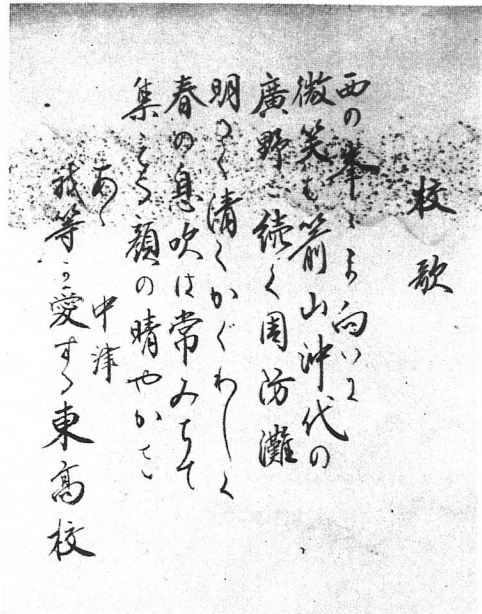
中津東高等学校時代



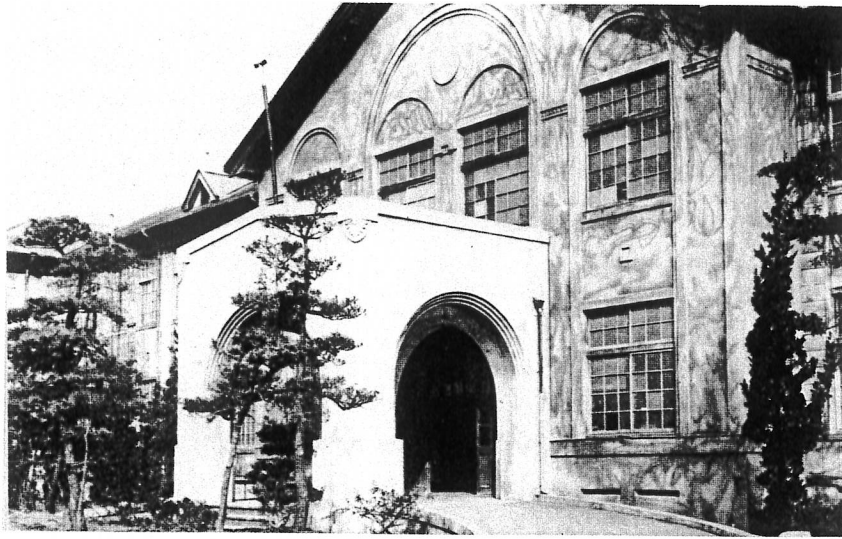
第2代校長
太神和好
(昭和23年～31年)



中津東高校校旗



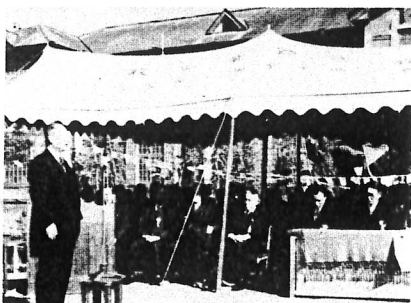
中津東高校校歌



▲当時の本館正面玄関(昭和28年)



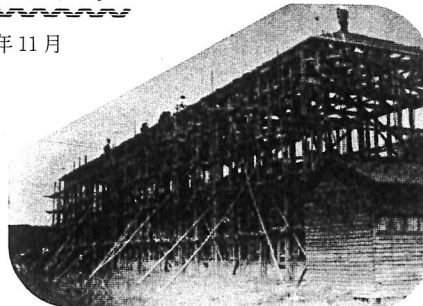
▲当時の生徒の寄せ書き(昭和25年)



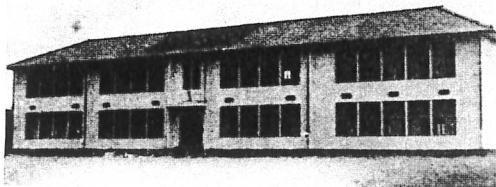
▲感激も新たに

増築祝賀祭

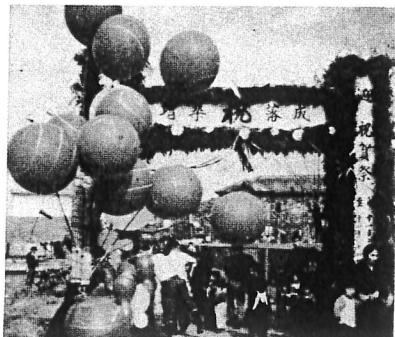
昭和26年11月



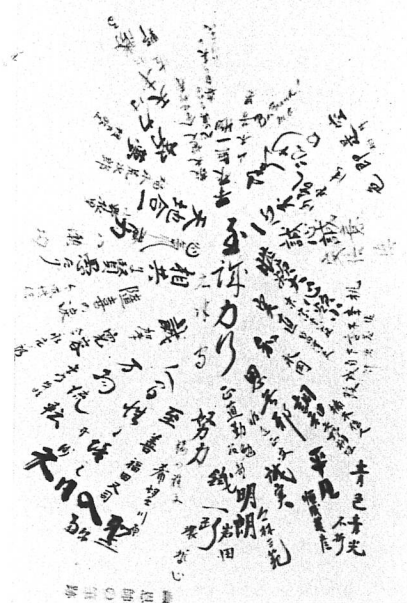
▲近代建築の構想に立つ



▲待望の新校舎

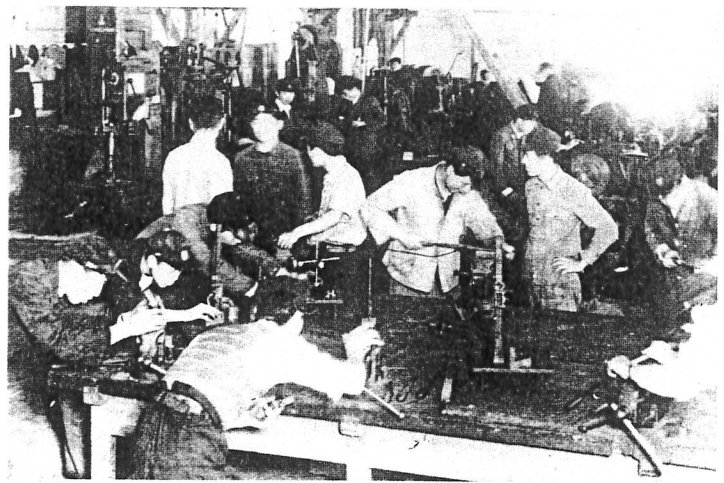


▲名物のバザーに見よ、この人出。



▲当時の職員の寄せ書き(昭和27年)

当時の実習風景



▲機械科実習－手仕上げ作業（昭和25年）



▲土木科実習－平板測量（昭和29年）



▲冶金科実習－化学分析（昭和27年）



▲電気科実習－電気機器実験（昭和29年度設置）

産業文化祭70周年記念

本校にて、昭和29年



▲映画展



▲蛤るこをどうぞ



▲木馬に乗る子ども



第3回生
司田和元氏
(定時制卒)

終戦直後の昭和23年6月、大塚町にある学校に夜間の定時制高校(工業、商業科)が誕生した。電柱の募集広告をみて学校に申し込んだら入試もなく入れてくれた。聞くところによると編入生は学歴も大学、旧制中等学校、高小卒とアンバラで教える先生も苦勞が多かったと思われる。物質不足の折りから設備も不十分でグラウンドは照明もなく夏季の日の長い時期には使用できた。特に冬季の通学と勉学は辛い思い出である。学問と職業の両立は当時として大変なことで卒業するまではかなりの落伍者があったと聞いている。

中津東高等学校時代



第3代校長
江 瀬 久 樹
(昭和32年~37年)



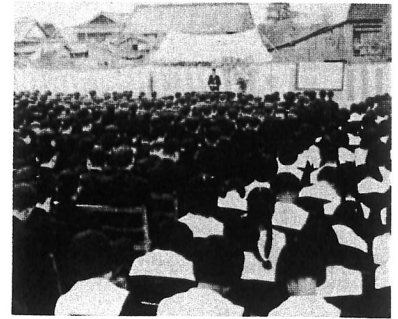
▲ 駅 前 ア ー チ

中津東高校40周年記念

昭和31年



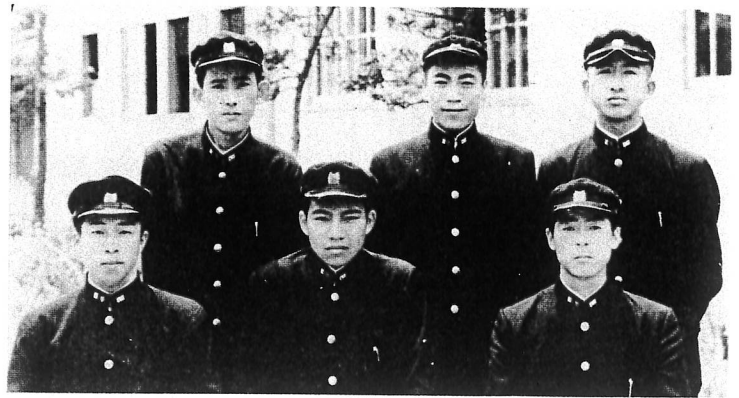
▲ いらっしやい



▲ 記 念 式 典



▲ 中津東高校全景…航空写真(昭和31年)



▲ 当時の生徒—どこぞで見かけた顔はないですか？(昭和33年3月卒)

当時の体育大会

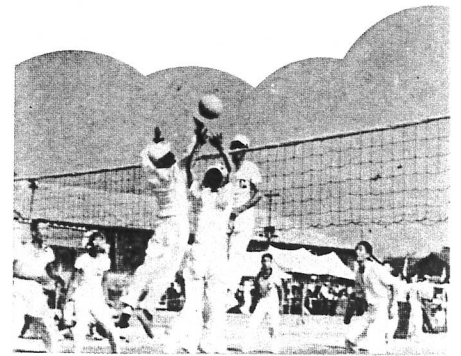
昭和34年



▲ 入 場 門 ・ 現 在 と よ く 以 て い る



▲ それ、もう少し



▲ 球 技 種 目 も 同 時 に



第10回生
江 熊 俊 明 氏
(土木科卒)

在学時代の思い出といえば、学生服、学生帽、襟章等がエンジニアのタマゴとして、生徒一人ひとりの誇りであり、毎日が生き生きとした学生時代であったことが脳裏に浮んで来る。一方、素行面では硬派が多く、私もその一人であったように思える。

卒業以来30年、我々の時代と現在では考え方に異質な面を感じる。しかし、時代は大きく変わっても中津工業生としての誇りを持ちつづけ、母校の発展のために、共にがんばろう!!

当時の体育関係部活動



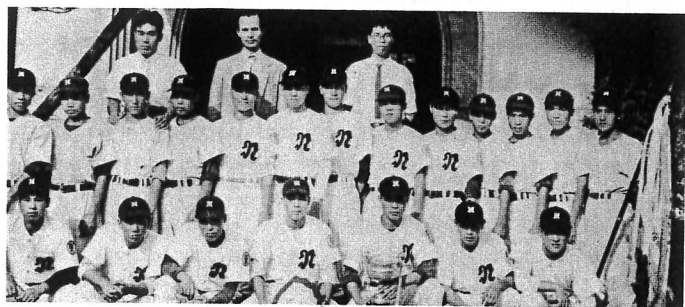
▶ 籠球部
◀ バレー部



▶ 卓球部
◀ 庭球部



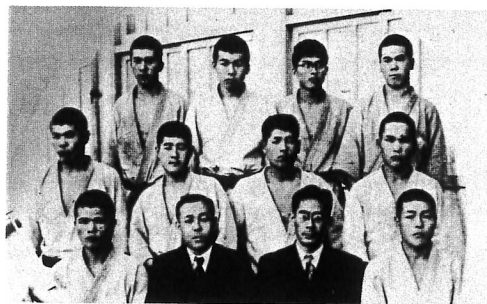
▶ 陸上部
◀ サッカー部



▶ ラグビー部
◀ 野球部



▶ 柔道部
◀ 相撲部



▶ 山岳部
◀ 水泳部



中津東高校時代から中津工業高校時代へ



第4代校長
東木政一
(昭和38年～40年)

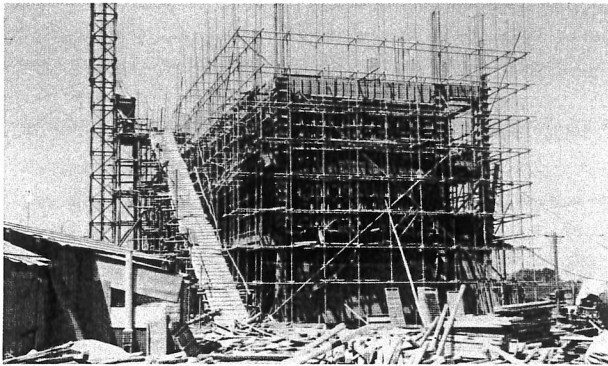
上如水の地に新学園建設 昭和38年



▲第一期工事(普通教室・製図教室)起工式



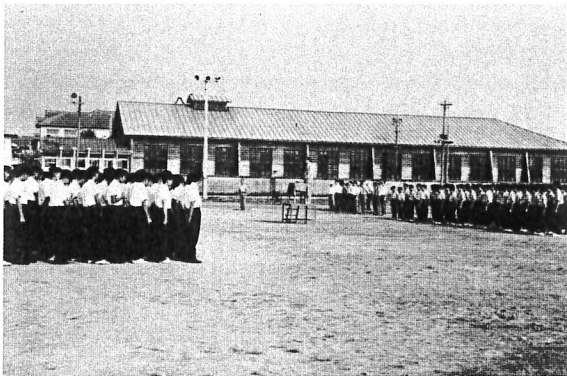
▲起工式神事



▲建設工事すすむ



▲完成した校舎



▲離別式(東高校グラウンド) (昭和38年)



▲東高校より到着した荷物 (昭和38年)

◆学校のカルデラ◆
校長 東木 政一 49人
副校長 金子 昌一 45人
生活係 藤田 幸三 41人
出 水 科 藤 野 45人
機 械 科 藤 野 45人
電 気 科 藤 野 45人
一 学 工 科 藤 野 44人
定時制 機械科 47人

◎治 高◎
昭和38年1月8日創立
中津東高から工業部門
が独立して、県立中津
工業高校として発足。
同年4月に1期生 334
人が入学、同年8月同
日創立の上如水に第1
期生として、専修科
教室は、製図室など延べ
1,700平方メートルの新
校舎ができた。

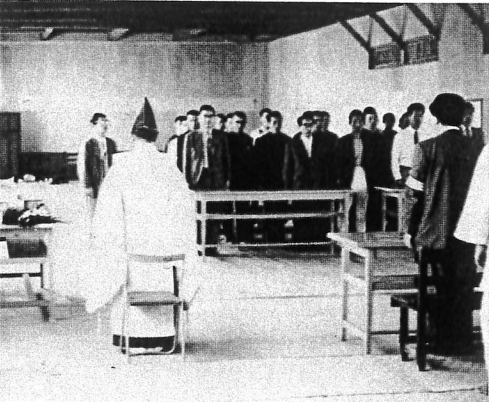
学園拝見
昭和38年1月
朝日新聞

新学園作りの夢
「中津工業高校」
近代産業人根性を育成

◀新設中津工業高校の構想を報じた朝日新聞記事 (昭和38年1月)



▲建設中の工業高校全景（航空写真・昭和39年）

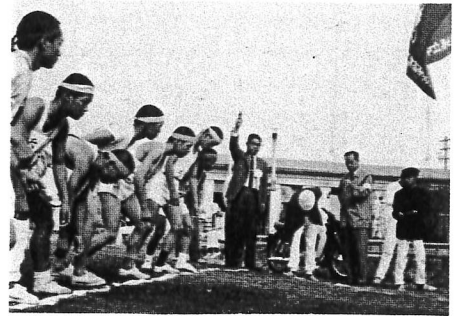


▲道場開き（柔剣道場）（昭和39年）



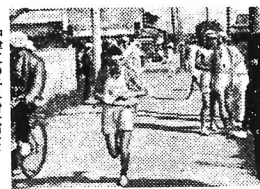
▲グラウンド建設に励む生徒達（昭和39年）

▼第1回校内駅伝大会開催（昭和38年）



運動会がわりに
各科対抗駅伝
中津工

中津工業高校では五年前九時半から運動会がわりに第一回校内各科対抗駅伝大会を開いた。同校はことし四月新設され、同居していた中津東高校から中津市如水の新校舎に九月移転したばかり。こ



中津工の各科対抗駅伝

のため運動施設もほとんどなく、生徒は一年生の男子ばかりという事情もあってにぎやかな運動会をすることができないが、今後も毎年この駅伝大会をすることになった。

同日は学校を中心に市内を半周する三十五・十八区コースで六チーム百八人の選手が参加、選手でない生徒たちは沿道で応援や中継地の世話などで大盛況に参画し、正午終わった。成績次のおり、①定時制（一時間52分49秒）②金属工業部（化学工学）



▲初の校友会誌「如水原」刊行（昭和39年8月）

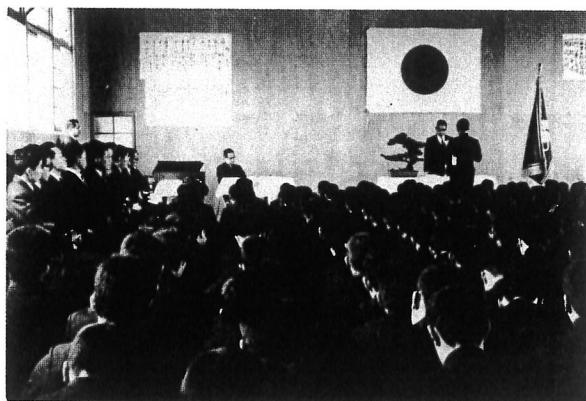


◀計算尺日本一（昭和39年）

中津工業高校時代



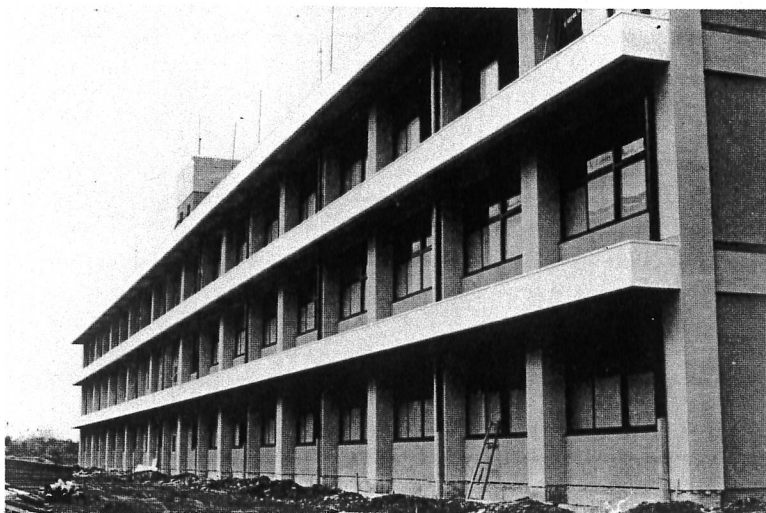
第5代校長
江口末市
(昭和41年～44年)



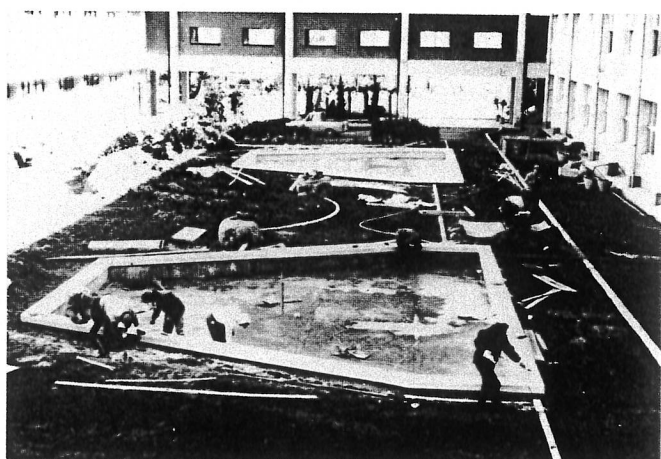
▲分離後の第1回卒業式 (道場にて昭和41年3月)



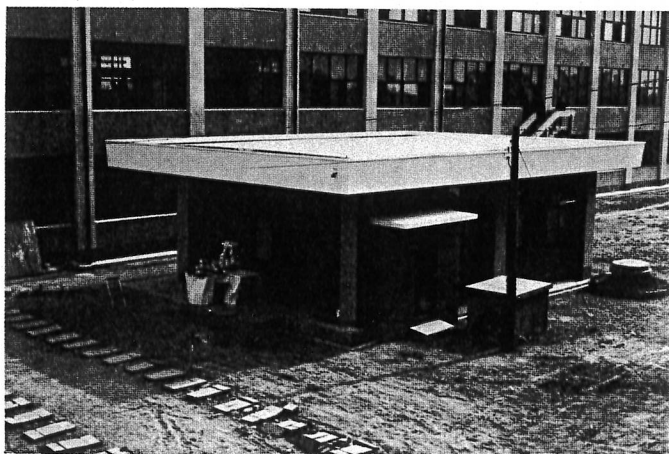
▲実社会にふみ出す (昭和41年3月)



▲本館管理棟完成 (昭和41年)



▲中庭作庭風景 (昭和43年)



▲給食室完成 (昭和42年)



▲校訓・校風制定記念式 (昭和42年)



第1回生
神田吉一氏
(機械科卒)

何しろ敗戦直後のことで、環境はきびしかったが、多くの秀れた先生方や、よき学友を得て心ゆくばかり青春を謳歌した。バレー部、弁論部、更に、受験勉強に首を突込む忙しい毎日であったが、充実感に満ちていた。気が向くと、よく山国川の堤を逍遥しては哲学書を読み、独り思索にふけたことも今はなつかしい。弁論大会での何度かの入賞、食糧供出作文展の知事賞2位等のイベントは家が貧しくてつい座折しそうな私に大きな自信と希望を与えてくれた。まことに実り多き3年間であった。

母校への思慕と思い出はつきない。ひたすら母校のご発展を祈るばかりである。

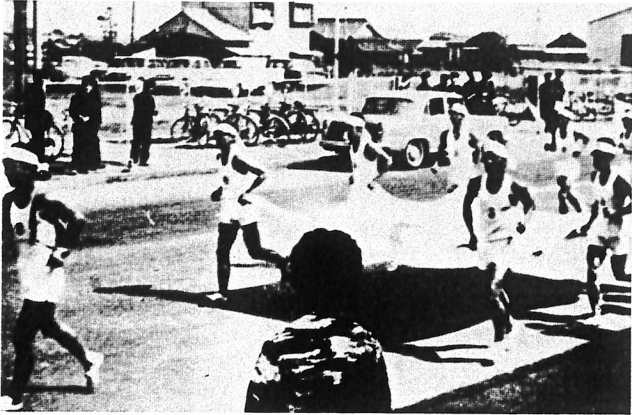
昭和42年8月6日

日曜日

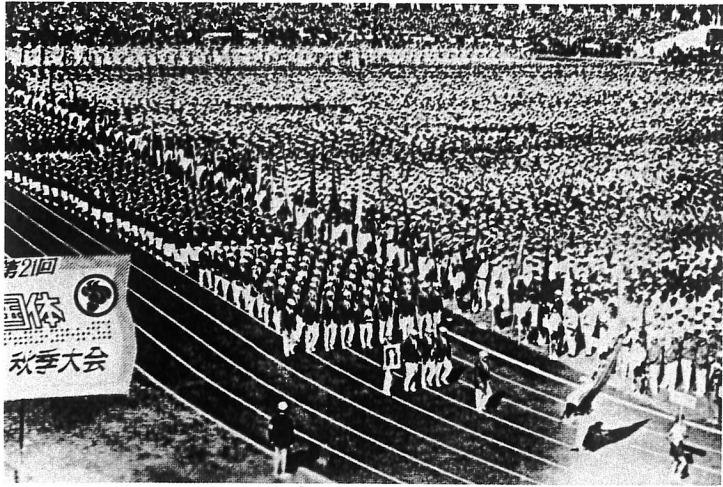
11版 (12)

第21回大分国体開かる

昭和41年



▲本校生徒の手で国体旗は中津を通過



▲県勢堂々の入場行進、本校生徒も多数参加

高校総合体育大会

5日

全国高校総合体育大会の五日、十三強技が福井、富山などで行われたが、前日没順延となった軟式テニスの男子団体

(決勝は、明星(大阪)が2-1で平安(京都)を降し優勝した。相撲団体では中津工(大分)が中村(高知)を3-2で破

相撲団体は中津工(大分)

卓球女子個人単 児玉(柳井商工)決勝で敗る

卓球の個人戦で児玉(柳井商工)は決勝で惜しくも敗れた。

相撲

▽団体準々決勝 中林(高知) 5-0 五所川原(高知) 3-2 石川(高知) 3-2	▽団体準決勝 中村(大分) 3-2 中山(高知) はたごこみ	▽準決勝 中村(大分) 3-2 五所川原(高知) 3-2	報徳(兵庫) 3-2 中津工(大分) 3-2 福井農林(福井)	金沢(石川) 3-2 福井農林(福井)	○山本よりきり 大杉よりたおし 竹島よりきり 小橋よりたおし 中津工 3-2 報徳 ○高橋いぞり 大西	○山田 平川 佐々木 野村 徳 ○岩尾したてなげ 中津工 3-2 中村 ○石川よりたおし 小橋よりたおし 高橋きりかえし ○中尾つきだし 小橋	○中島おしたおし 平川 西川 ○岩尾したてなげ 中津工 3-2 中村 ○石川よりたおし 小橋よりたおし 高橋きりかえし ○中尾つきだし 小橋
---	--------------------------------------	------------------------------------	---------------------------------------	------------------------	---	--	---

▲よくやった!全国制覇 (昭和42年8月6日の新聞記事より)

なつかしい同窓会



▲第2回 関東支部総会 (昭和42年5月6日) あいさつをする神田支部長 (左ページ下段に神田氏の近影と寄せられたメッセージ)



▲総会後の懇親会風景 「佐野先生、久方ぶりですね!」「おーっと君は!?何年卒だったかな」「いやだな…私ですよ、私ですよ!困りますよ、私を忘れては……」「あ…わかった、思い出したよ……」

中津工業高校時代



第6代校長
佐柄木 賢一
(昭和44年～47年)

30周年記念行事

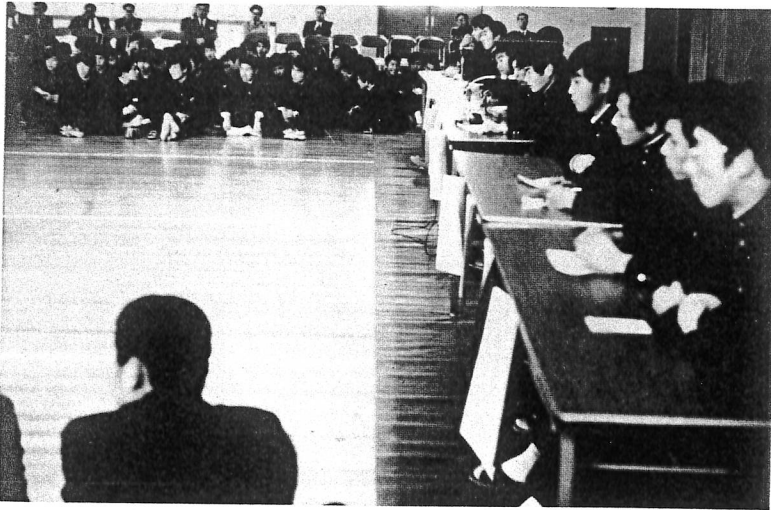


▲記念式典 (昭和49年)



▲記念碑除幕式 (昭和49年)

当時の行事から



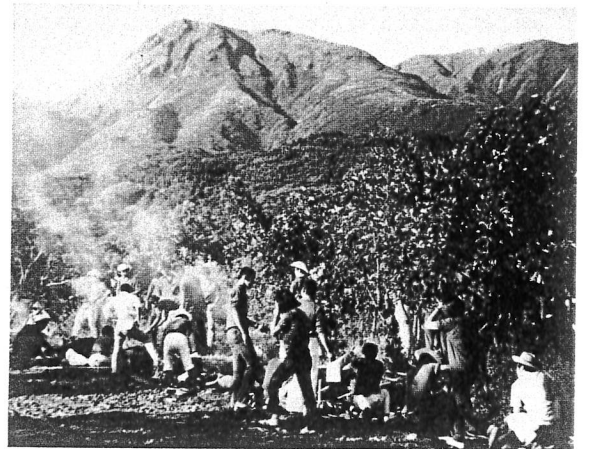
▲活発な討議の行なわれた生徒大会 (昭和47年)



▲予餞会で熱演 (昭和49年)

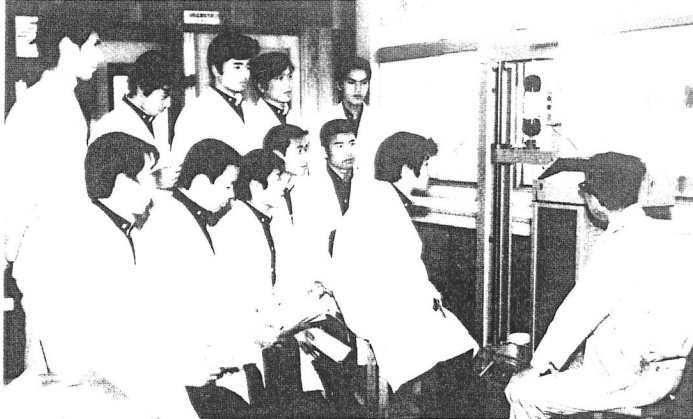


▲熱弁に聞き入る生徒達〔校内弁論大会〕 (昭和48年)



▲教育キャンプ (昭和47年)

実習風景

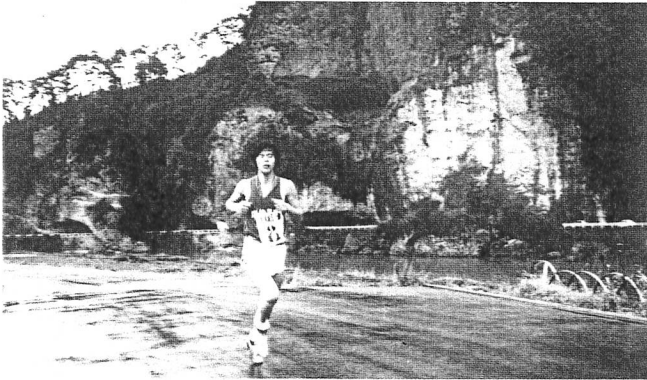


▲化学工学科 (昭和49年)



▲電子科 (昭和49年)

クラブ活動



▲青の洞門を力走する校内駅伝 (昭和47年)



▲日本学生科学賞・県最優秀賞 (昭和49年)



▲剣道部 紅一点がんばる



▲緊張の面持ちの茶道部練習 (昭和47年)



第26回生(化学工学科卒)
酒井 恵美子 さん
(旧姓・小幡)

卒業して10年め、母校の名も懐しく感じる今日この頃です。

当時男子一色の校内に、女子第一期として6名入学しました。男子生徒の反応もさまざま、珍客来校というか、歓迎してくれる者、全く関心を示さない者など、行動する私達の体中に多くの視線を感じる毎日でした。トイレに入ろうとすると向かいの土木棟から黄色い歓声、登校第1日め、全校の窓に黒山の人だかりだったのを覚えています。高校3年間に、6人で過ごした共通の時間、男子生徒とともに実験、実習に励んだ時間、一人でとびこみクラブ活動をした時間など。

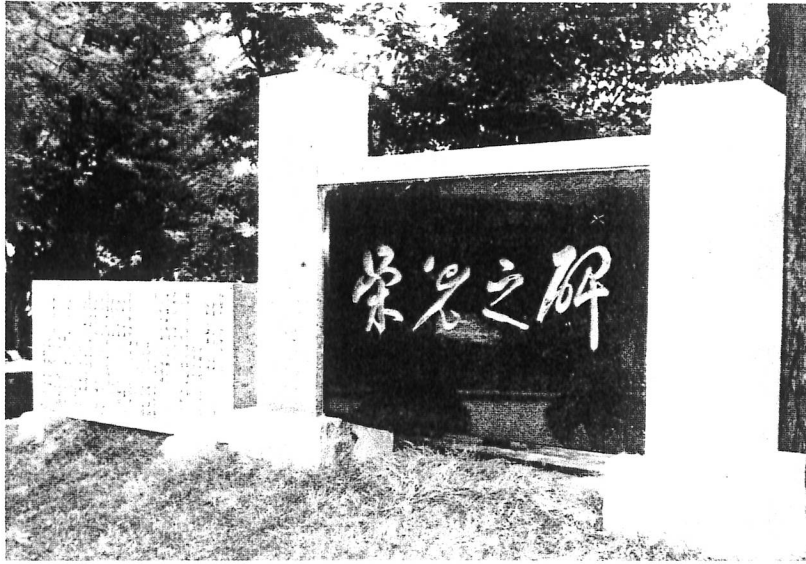
これらを通して得た人間関係は不思議なもので今も尚、私達6人の絆は固く結ばれて交際も続けられています。(剣道部の写真右端)

中津工業高校時代



第7代校長
後藤 進
(昭和48年～51年)

栄光の碑建立



▲同窓会寄贈

雪月花のひととき
わか青まにほろ



中津工業高校

大島 満
昭和44年3月27日

電気科卒業
大島 康徳

大島満墨含む三発



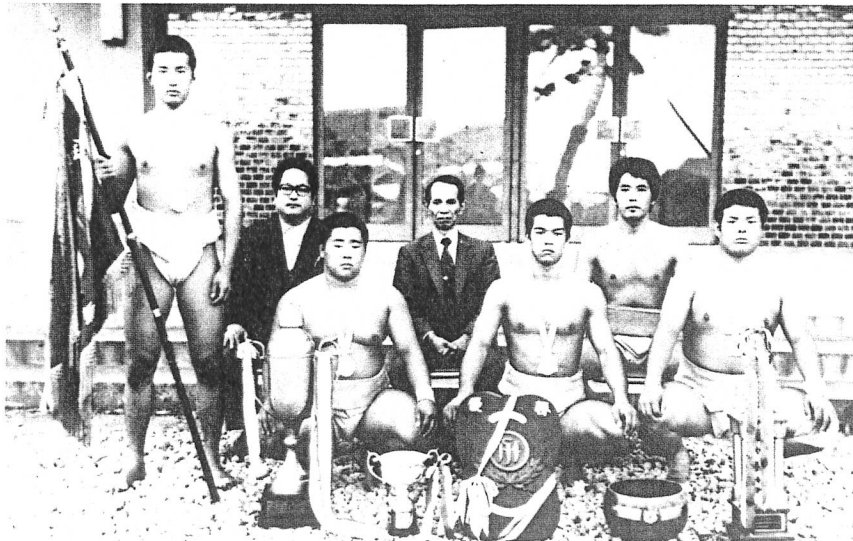
大分のホープ
新入幕・谷嵐



▲谷嵐新入幕(昭和53年)

(本名・山口 久 昭和46年3月化学工学科卒)

▲中日ドラゴンズで活躍中の大島選手 (昭和44年3月・電気科卒)



中津工10年ぶり優勝

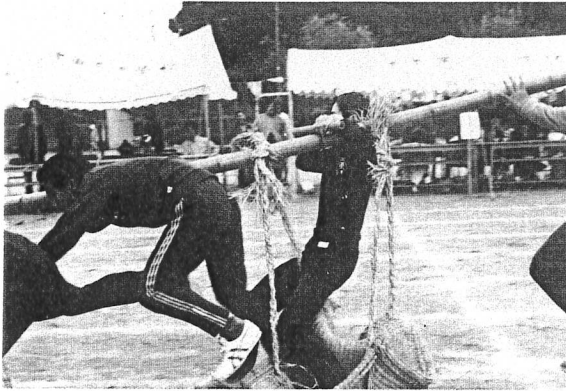
鹿児島実を圧倒

▲相撲 10年ぶりに全国優勝(昭和50年)

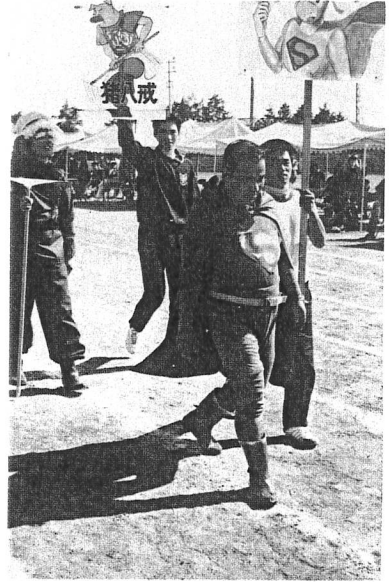
体育大会



第8代校長
筒井 真
(昭和52年～55年)



▲気ばかり前に (昭和50年)



▲先生かなり腹が出ました
(昭和54年)

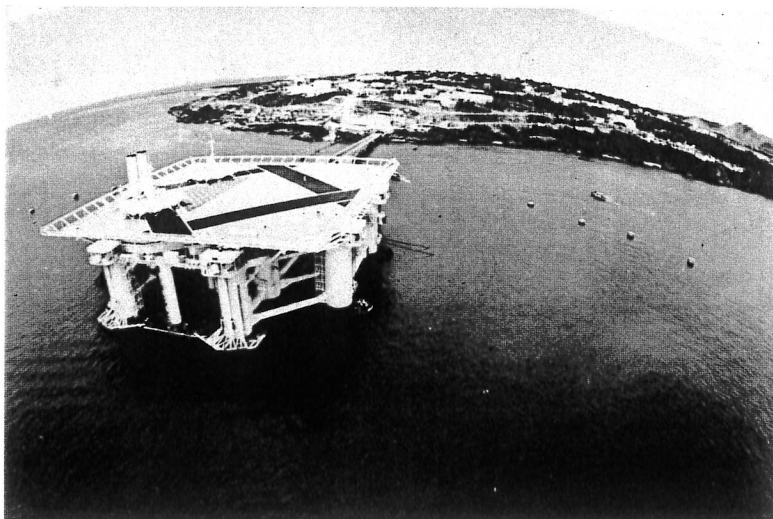


▲かわゆ～い (昭和52年)



▲バーは、この後どうだったか (昭和52年)

この時代の主な出来事から



▲沖縄国際海洋博覧会 (昭和50年)

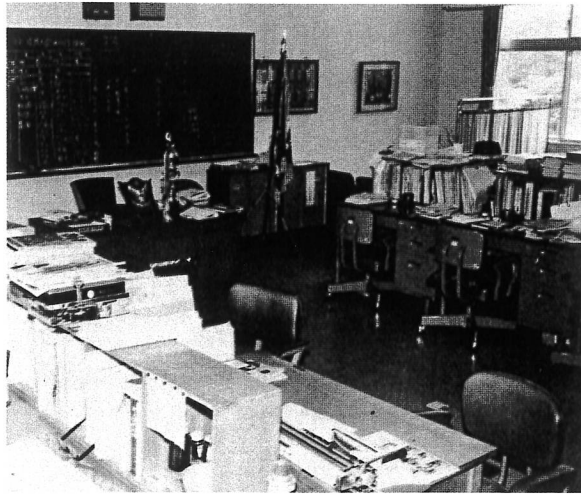


▲鹿児島市立病院で5っ子誕生 (昭和51年)

中津工業高校時代



第9代校長
小野 伊三郎
(昭和55年～56年)

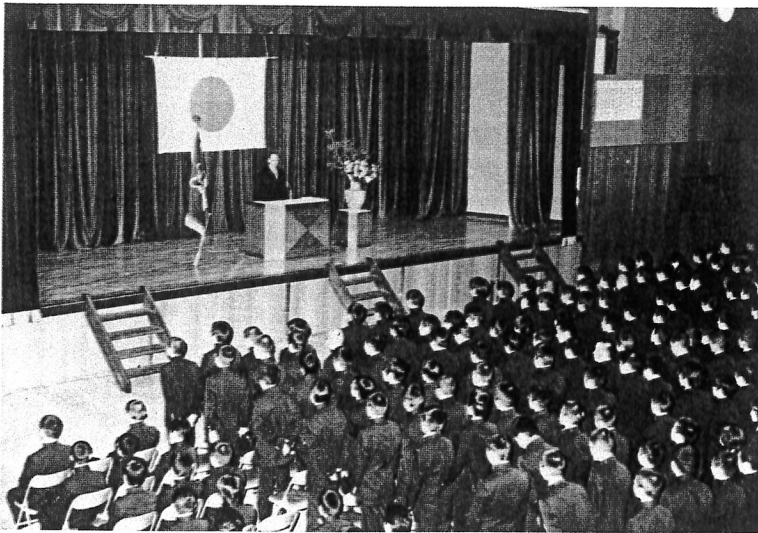


▲定時制職員室完成 (昭和56年)

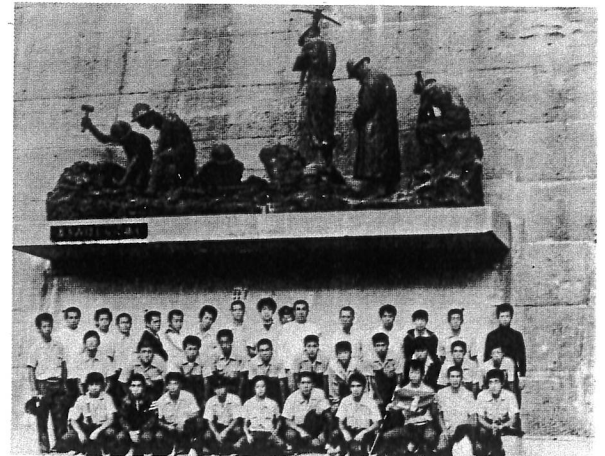


▲家庭科実習風景 (昭和58年度開設)

あの日あの時



▲入学式 (昭和55年4月)



▲修学旅行—黒部ダムにて (昭和56年)



▲修学旅行【浅草寺境内にて】 (昭和56年)



▲卒業生報告会 (昭和57年)



第10代校長
二 中 誠 二
(昭和57年～)



▲昭和58年度 全職員 — 入学式当日体育館にて



▲選手達に胴上げされる中津工・小林監督
(昭和58年7月)



【中津工—国東】十一回表、中津工1番石田の右中間三塁打で一走奥下、いっきにホームインし、3点目を奪い試合を決めた



中津工、悲願の初優勝

延長11回、国東を振り切る

中津工、悲願の優勝。第六にのちれたが、延長十一回、二十五回、国東の投手は、疲れの多え、左腕の投手、金藤は、十七日午後一時、吉田三本の長打を併せて、中津工が、新大谷球場で行われ、中津工が、4-2で、国東を振り切った。この日は、試合の途中で、中津工の投手、吉田三本の長打を併せて、中津工が、4-2で、国東を振り切った。この日は、試合の途中で、中津工の投手、吉田三本の長打を併せて、中津工が、4-2で、国東を振り切った。



▲甲子園出場が決めた直後、応援席前に駆け寄る中津工チーム
(昭和58年7月)

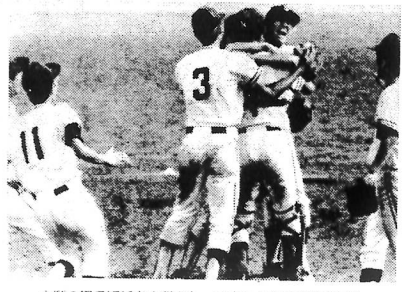
中津工	00000000000	00000000000	00000000000
国東	00000000000	00000000000	00000000000

【中津工—国東】十一回表、中津工1番石田の右中間三塁打で一走奥下、いっきにホームインし、3点目を奪い試合を決めた

【中津工—国東】十一回表、中津工1番石田の右中間三塁打で一走奥下、いっきにホームインし、3点目を奪い試合を決めた

【中津工—国東】十一回表、中津工1番石田の右中間三塁打で一走奥下、いっきにホームインし、3点目を奪い試合を決めた

【中津工—国東】十一回表、中津工1番石田の右中間三塁打で一走奥下、いっきにホームインし、3点目を奪い試合を決めた



立願の甲子園行きを果たし、マウンドの大投手に飛びつく中津工のサイン

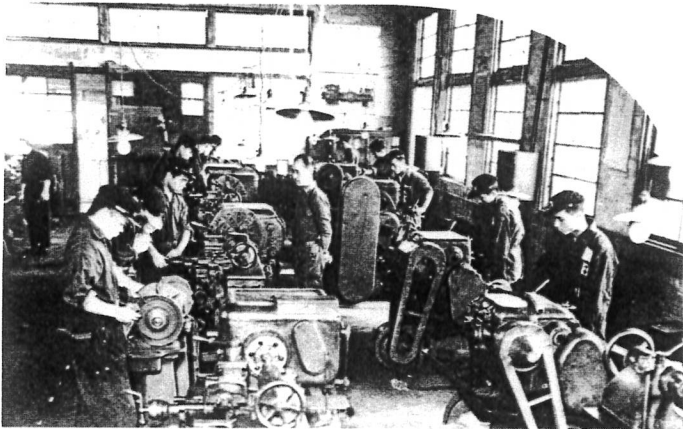
機械科



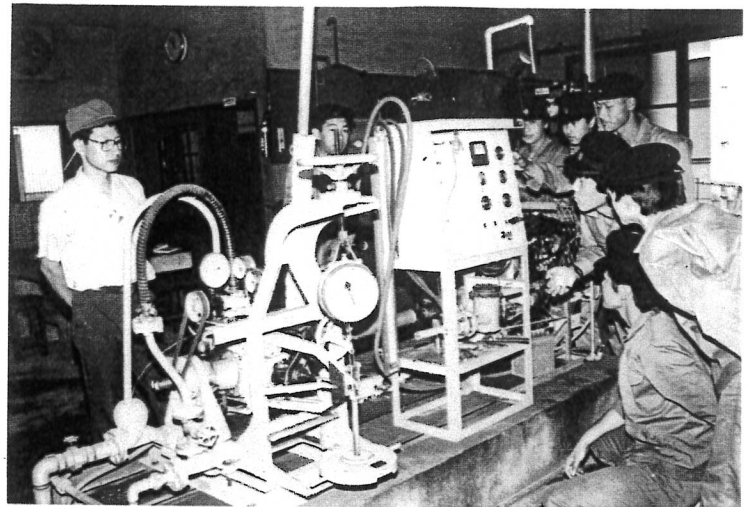
機械科応援歌

一、秋れいろいろの夕紅葉
血潮をたごう斗魂の
こゝに燃ゆる一千の
胸こそおどれ若き身に

二、若い元気な機械科の
緑の旗は勝利の印
さつと打ち振りや
如水の丘に強き男の
血が騒ぐ



昭和33年(中津東高)当時の施盤実習



熱機関実習室(自動車エンジンの性能試験実習)



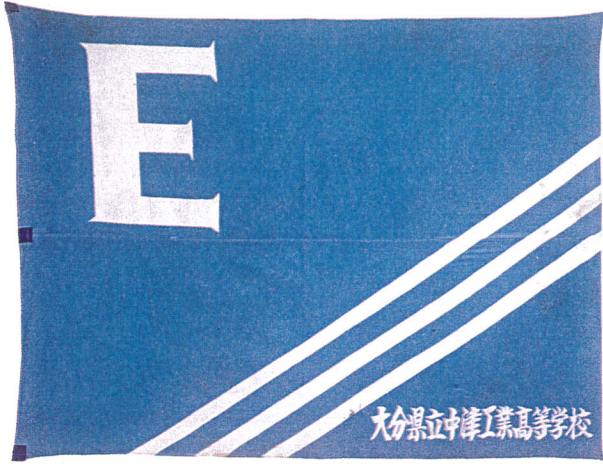
機械実習室(施盤及び各種工作機械加工実習)



流体機械実習室(タービンポンプの運転実習)

各科紹介

電気科



電気科応援歌

一、風を切りつつ走り

砂ぼこり舞い上る

あれを見よ電気科男児

不敗の天使

我ら電気電気科親衛隊

二、沖代で指折りの

色男せいぞろい

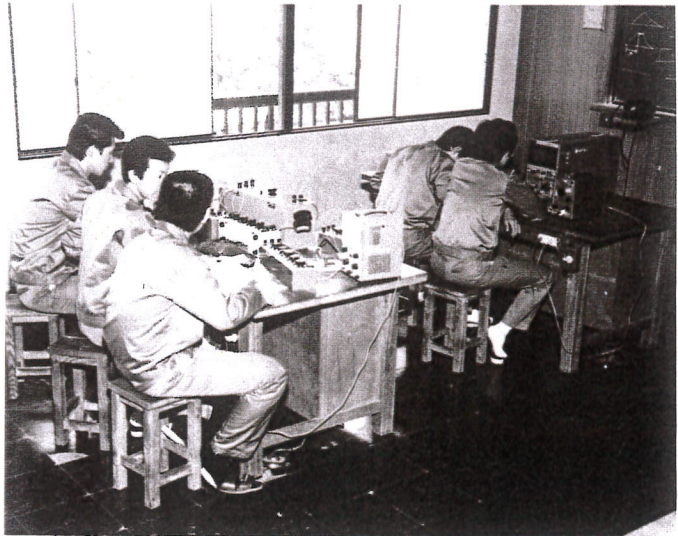
振り向くな電気科男児

夢見る天使

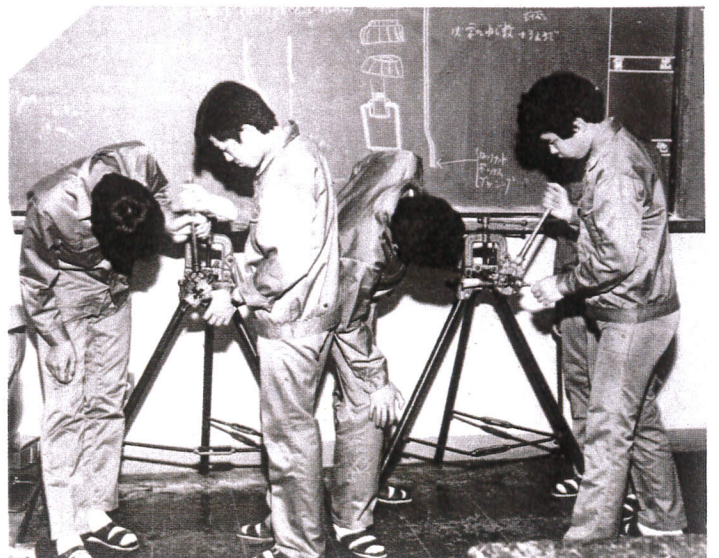
我ら電気電気科親衛隊



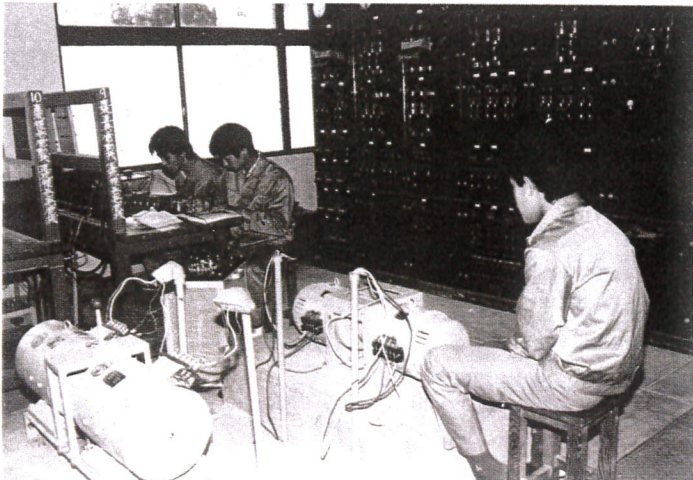
将来の電力マンに不可欠の電力実習



計器見る目も真剣な電子工学実習

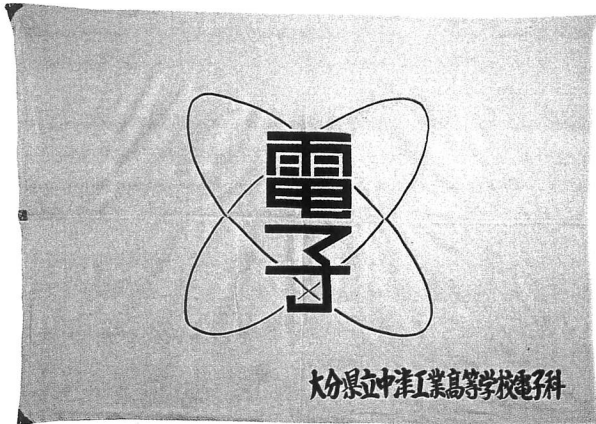


工事士免状取得を目指して電気工事実習



電気科の主要実習・電気機器実習

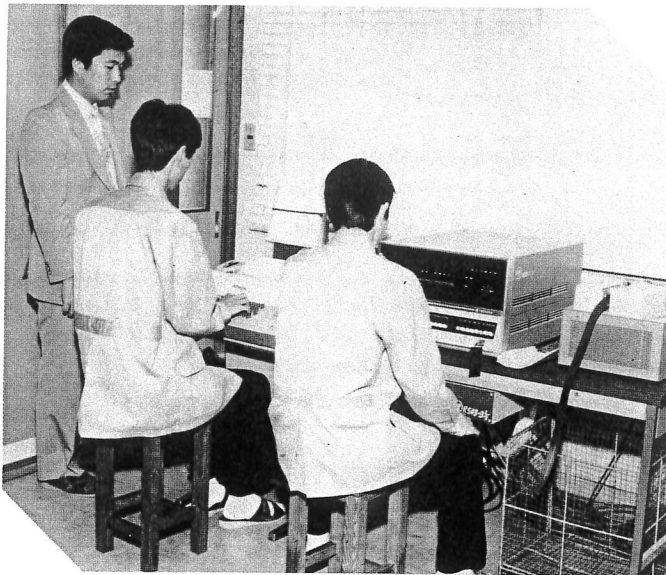
電 子 科



電子科 応援歌

一、行くぞ敵陣命がけ 白地の旗には
勝利に燃える 今年は電子科 心は
火玉 でっかい胸には 不屈の闘志

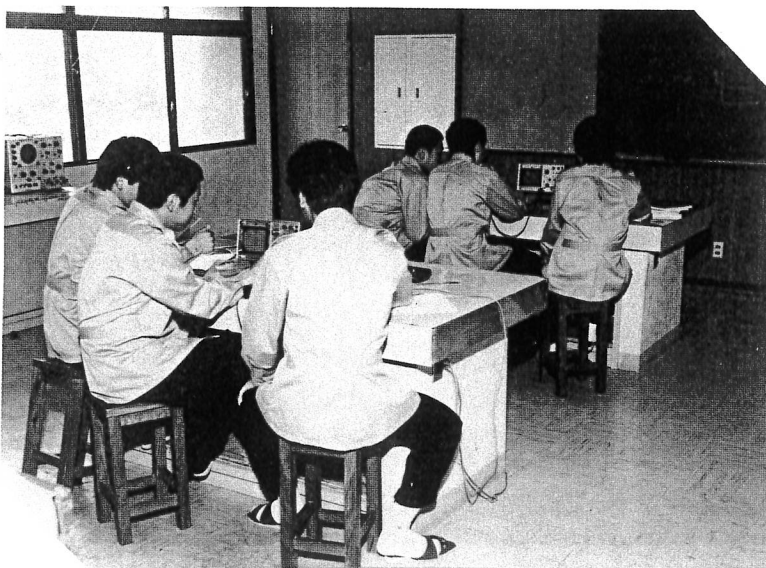
二、若い血潮の俺たちの 泥んこ苦業は
何んのその 今に見ておれ 俺たち
だって 今日の勝利は電子のもの



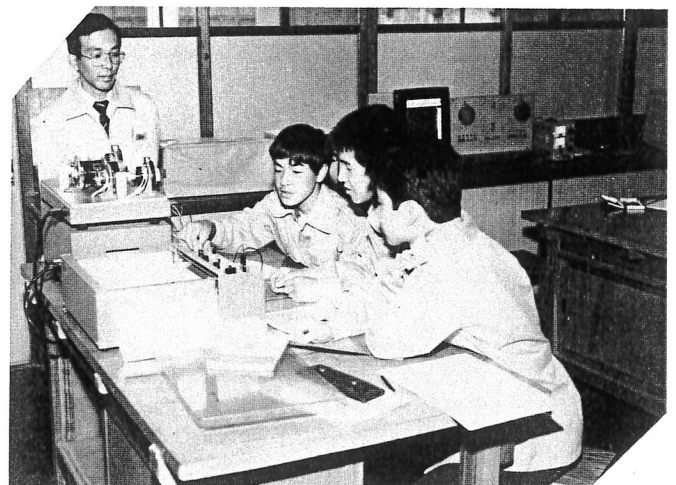
電子科の花形、コンピューター実習



溶接も主要課題の工作実習



トランジスタ・ICを使った電子機器実習



産業の最先端を学ぶ自動制御実習

各科紹介

土木科



土木科 応援歌

一、一つとせ 人もよく知る中工の
土木健児の数え歌

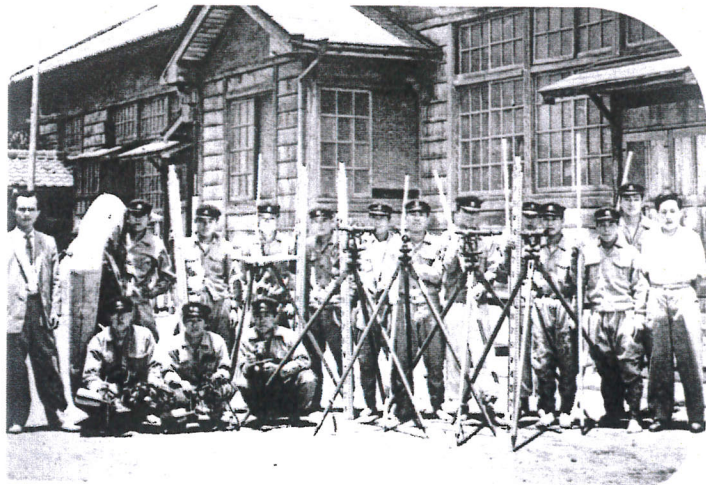
ソイツアゴーキダネー

二、二つとせ 吹く荒風に気はすさぶ
土木健児のその意気を

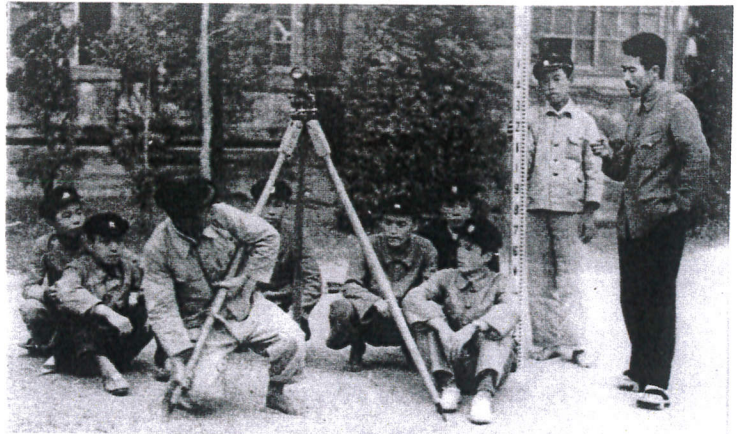
ソイツアゴーキダネー

三、三つとせ 見かけは荒武者男でも
義理と人情は欠かさぬぞ

ソイツアゴーキダネー



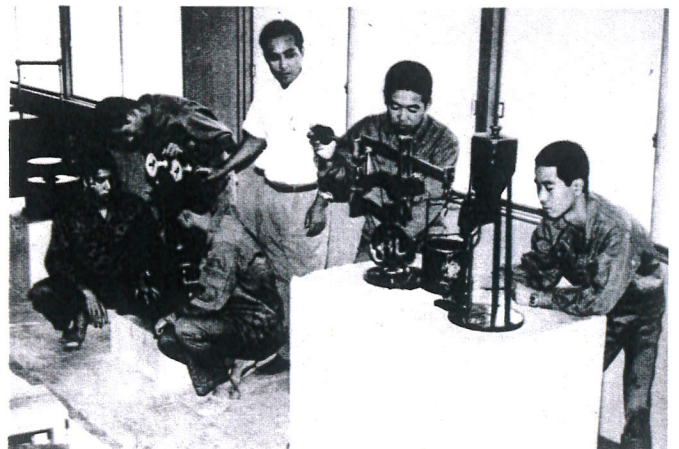
いざ!!高低差測量に出発。昭和26年(第4回)



レベルのすえつけ練習。教師の足元注目!! 昭和23年(第2回)



土木科女生徒、第一期生から第三期生のあて姿マイコンに取り組む、この真剣さ!!



結果が出たら昼食だ。(ミハエリス試験)

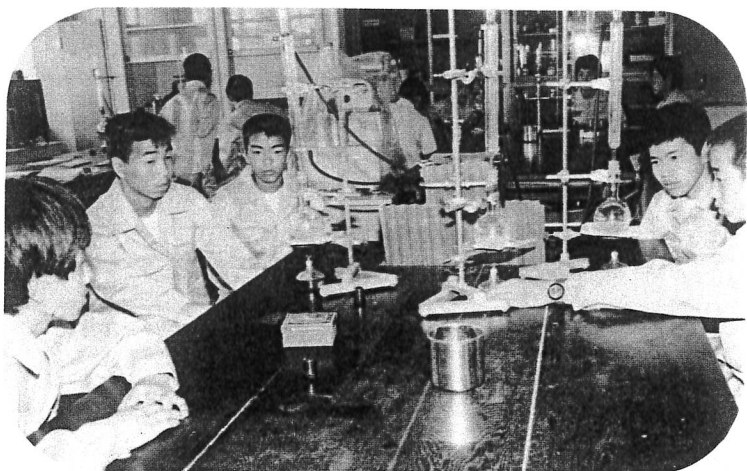
昭和43年(第21回)

化学工学科

化学工学科応援歌

一、貴様と俺とは 化学の仲間
皆なそれぞれに 強者ぞ
内に秘めたる 闘志を燃やし
見事見せます 我が勝利

二、貴様と俺とは 化学の仲間
燃える闘魂 ぶっつけて
我等が旗の ひるがえるもと
しっかり手にした 優勝旗



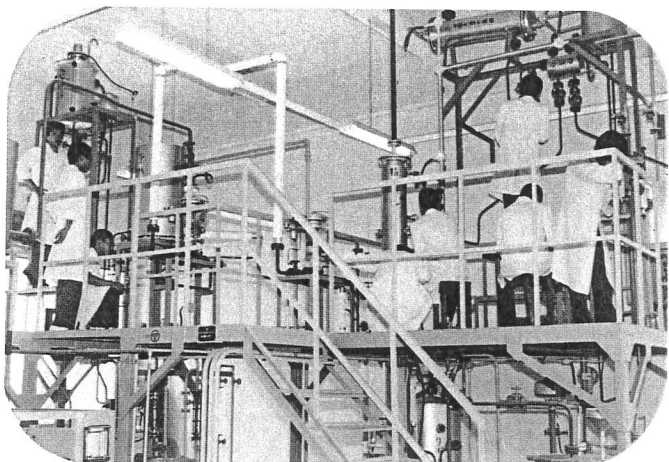
工業基礎(全科履習)
～石鹼の製造～



機器分析
～カドミウムの定量分析～



有機合成
～アニリンの製造～



操作プラント
～メタノールの蒸溜～

金属工業科



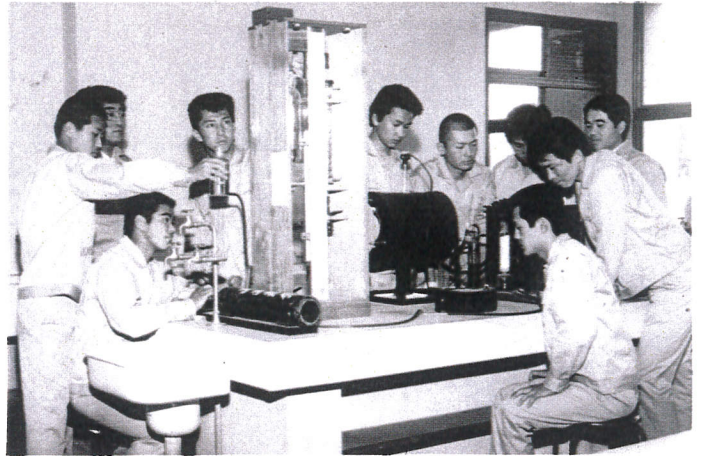
金属工業科応援歌

第一応援歌

血をすすり涙して
勝ち得し御旗
濁世の最中燦たる光
見よや紅の旗頭
金属健児の意気の精
立てば収めん
御旗のもとに群雄乱れ
剣折るるとも
いかで渡すべきこの旗を
必死の力を尽くすまで



鍛造実習



工業分析実習



金属材料試験実習



溶接実習

定時制機械科



歯車の中に機械のMをデザインし全体を
橙色に、白で大分県立中津工業高等学校
定時制を染め抜いた旗。



昼働き、夜学ぶ勤労学生の校舎夜景



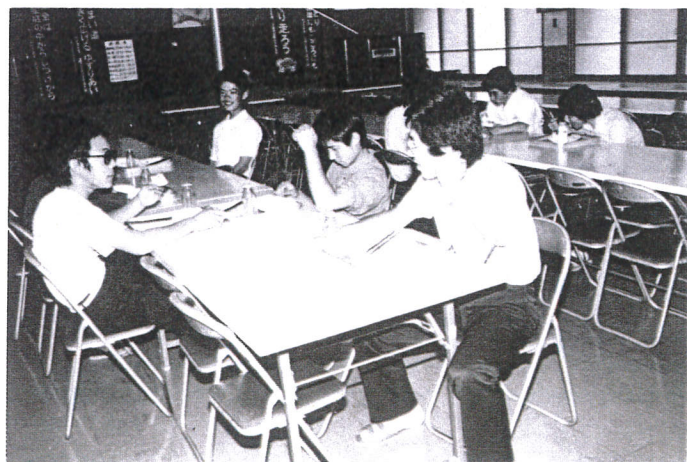
大分県高等学校・定時制・通信制
体育大会入場行進



施盤実習風景



夜の体育大会風景



食べる楽しみ、定時制給食風景
(先生とのコミュニケーション)

栄光の記録



◆野球部

次の各大会に出場し、健闘した。



▲第65回・全国高校野球選手権大会(甲子園大会) 大分県予選大会で優勝、閉会式で表彰される 中津工業チーム

- 昭和30年 県高校野球秋季大会優勝
- 昭和31年 甲子園大会東九州予選出場・九州大会県予選優勝・九州大会準決勝進出
- 昭和32年 甲子園大会東九州予選出場・九州大会予選優勝・九州大会出場
- 昭和33年 県高校野球春季中央大会準優勝・甲子園大会県予選(決勝進出)
- 昭和35年 県高校中央大会優勝
- 昭和36年 甲子園大会中九州予選準決勝進出・九州大会県予選優勝・九州大会出場
県高校野球秋季大会優勝
- 昭和38年 九州大会県予選優勝・九州大会準決勝進出
- 昭和39年 甲子園大会中九州予選準決勝進出・九州大会県予選優勝・九州大会準決勝進出
- 昭和40年 九州大会県予選優勝・九州大会準決勝進出・県高校野球秋季大会優勝
- 昭和45年 県高校野球選手権大会優勝
- 昭和46年 甲子園大会中九州予選決勝進出・県高校野球選手権大会優勝
九州大会県予選優勝・九州大会準決勝進出
- 昭和48年 県高校野球選手権大会準優勝
- 昭和49年 甲子園大会中九州予選準決勝進出
- 昭和50年 甲子園大会県予選決勝進出・九州大会県予選優勝・九州大会準決勝進出
- 昭和56年 甲子園大会県予選決勝進出
- 昭和58年 甲子園大会大分県予選で優勝・初の全国大会出場の栄冠に輝く

◆サッカー部

次の各大会に出場し、健闘した。



▲第61回全国サッカー選手権大会で、県予選、東九州予選を勝ちぬいて、千葉県総合運動場で行なわれた全国大会に出場。強豪清水東と当たり善戦した。対戦校清水東は、その年の優勝校である。

- 昭和35年 国民体育大会(熊本)
全国高校サッカー選手権大会(大阪) ベスト8
- 昭和36年 国民体育大会(秋田)
- 昭和37年 国民体育大会(岡山)
全国高校サッカー選手権大会(大阪)
- 昭和39年 国民体育大会(新潟)
- 昭和42年 国民体育大会(埼玉)
全国高校サッカー選手権大会(大阪)
- 昭和43年 国民体育大会(福井) ベスト4
全国高校サッカー選手権大会(大阪)
- 昭和47年 全国高等学校総合体育大会(山形)
- 昭和49年 全国高等学校総合体育大会(佐賀)
全国高校サッカー選手権大会(大阪)
- 昭和53年 国民体育大会(長野)
- 昭和57年 全国高校サッカー選手権大会(東京)

バスケットボール部



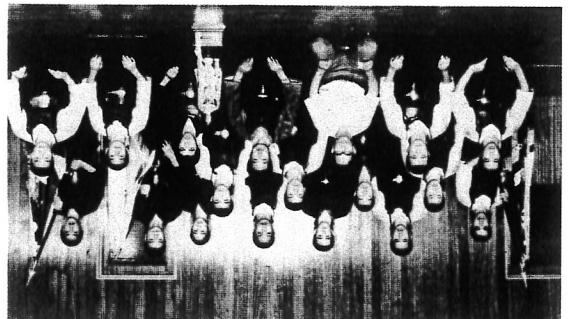
▲昭和50年度 高校県体 第3位
写真は、準々決勝で、大分上野ヶ丘との対戦
中津工 44-26 上野ヶ丘。

◆バスケットボール部



▲昭和57年度 高校県体 第3位
写真は1回戦で、別府鶴見ヶ丘との対戦、実業団新日鉄で活躍中の野間栄治のフリースローがきまったところ。この年の島根国体に、竹下和男が県代表として出場。

◆剣道部

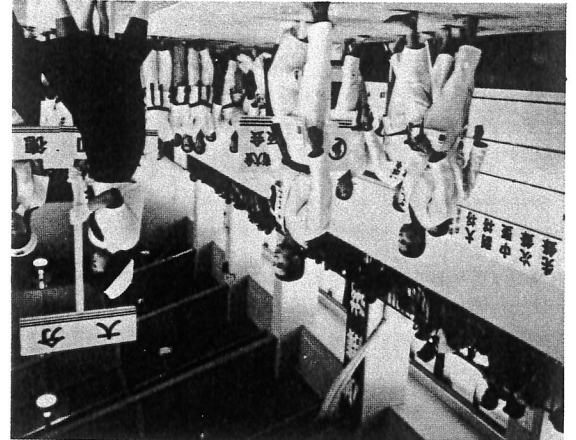


▲昭和50年度、各種大会で活躍した選手達

昭和39年 九州高校剣道大会団体戦
 九州高校剣道大会個人戦
 (永松 栄治)
 昭和44年 県高校剣道大会個人戦
 (優勝/中田 利則)
 昭和45年 原高校剣道大会団体優勝
 原高校剣道大会個人戦
 (優勝/川村 修三)
 昭和47年 九州高校剣道大会個人戦
 九州高校剣道大会個人戦
 (優勝/衛藤 浩二)
 昭和49年 県高校剣道大会個人戦
 (優勝/川村 修三)
 県高校剣道大会個人戦
 (優勝/衛藤 浩二)

昭和50年 九州高校剣道大会団体
 九州高校剣道大会個人
 (川村修三・梶原義孝・竹中哲三)
 全国高校剣道大会個人
 (川村修三・梶原義孝・梶原義孝
 原高校剣道大会個人
 (優勝/川村 修三)
 玉竜旗高校剣道全国大
 (ベスト16
 個人戦)
 県高校剣道団体
 九州国体フック子
 九州高校剣道大会個人
 昭和51年 九州高校剣道大会個人
 (富松 義博
 玉竜旗高校剣道全国大
 昭和54年 玉竜旗高校剣道全国大
 (5回戦にて敗退
 九州高校剣道大会個人
 昭和55年 九州高校剣道大会個人
 (山田恭弘・ベスト3)

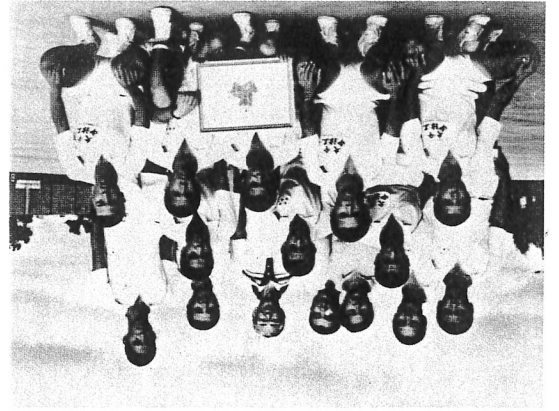
◆柔道部



▲昭和56年、滋賀国体団体第4位入賞の大分卓子チーム入場、ブライアに続いて入場するのが稲月隆好君

昭和40年 全国高校柔道卓子選個人の部(此松孝一・重量級) 第2位、九州大会(大分
 出場・優秀8人に入賞・金鷲旗卓子選第2位、本大会(福岡) 4回戦敗)
 岐阜国体出場 (此松孝一・佐藤正吾)
 高校卓子選団体優勝・個人(重量級優勝・此松孝一) 全国大会卓子選団体優勝
 金鷲旗卓子選団体優勝・金鷲旗全国大会(福岡市) 団体第3位(176校参加
 全国高校柔道大会団体戦ベスト16・大分国体出場(此松孝一) 大分県チーム第3
 位)
 昭和42年 全国大会卓子選第3位・金鷲旗卓子選第5位・全国金鷲旗大会ベスト3
 (173校参加)
 昭和44年 国体(長崎) 出場(安東省三)
 昭和45年 全国大会卓子選団体優勝・九州大会出場・全国大会出場(和歌山市)
 昭和46年 全国大会(愛媛) 出場(土谷敦弘・中量級) 全国第3位
 大分県軽量級選手権(一般・高校・土谷敦弘) 優勝
 昭和56年 第3回全国高校選手権九州大会団体戦出場
 九州大会(長崎市) 林哲也、軽量級出場・国体(滋賀) 稲月隆好、全国第4位
 国体(島根) 稲月隆好、2年連続県代表として出場

◆軟式庭球部



▲第36回、全九州高校軟式庭球大会(那覇市)に出場し、準優勝を勝ち取った選手達

(全国
 大会)
 昭和30年 団体出場
 昭和32年 団体出場
 昭和34年 団体出場第3位
 (小田原)
 昭和36年 団体出場
 (新潟)
 昭和37年 団体出場
 昭和38年 団体出場準優勝
 (伊勢)
 昭和39年 団体出場
 昭和40年 団体出場
 昭和48年 団体出場第4位
 (豊橋)
 昭和51年 個人出場第4位
 (松本)
 昭和53年 個人出場第8位(木元・石田)
 団体出場
 (岩城)
 昭和56年 全国選抜大会
 個人第4位(木元・有永)
 昭和57年 団体出場
 (鹿児島)
 昭和58年 団体出場
 (伊勢)

(九州
 大会)
 昭和32年 団体優勝
 昭和34年 団体優勝
 昭和35年 個人優勝(堀田・大井)
 (鹿児島)
 団体優勝
 昭和38年 個人優勝(北殿・村上)
 (宮崎)
 団体優勝
 昭和39年 個人優勝(小畑・下部)
 (大分)
 団体優勝
 昭和47年 個人優勝(木元・石田)
 (鹿児島)
 九州高校生大会
 団体優勝
 昭和55年 九州新人大会
 団体準優勝
 昭和56年 団体準優勝
 (鹿児島)
 団体準優勝
 昭和57年 団体準優勝
 (沖縄)

栄光の記録

陸上部



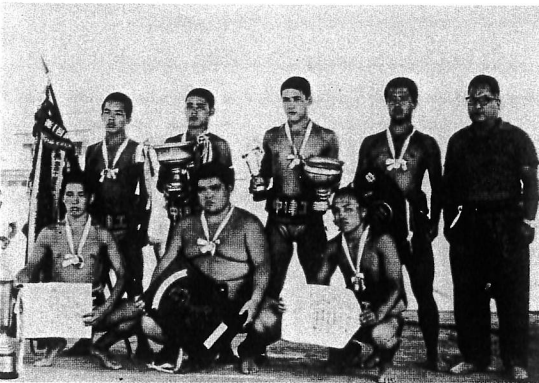
▲昭和55年、全九州高校駅伝競走大会で2時間9分26秒の大分県新記録を出してみごとに第3位に入賞

- ◎昭和56年 日本・中国・カナダ対抗陸上大会
5000m 第2位 後藤芳
- ◎昭和57年 西日本リレーカーニバル
5000m 優勝 姫嶋政
第2位 榎本泰

- ◎九州高校駅伝()内は開催地
昭和40年(大村)第5位・県高校新
昭和43年(大村) 昭和44年(熊本)
昭和47年 昭和48年
昭和50年(宮崎) 昭和52年(長崎)
昭和54年(大分)
昭和55年(熊本) (井上・工藤・後藤
水呉・姫嶋・中島・宮村)
第3位(2°9'56") 大分県
新記録(全国ランキング3位)
区間賞3区(後藤)
昭和56年(福岡) 昭和57年(鹿児島)
- ◎全国高校駅伝
昭和40年(大阪)13位
(未田・岩永・原田・小倉・
田代・古椎・末延)
昭和49年(京都)14位
(相良・藤田・池部・川江・
赤嶺秀・永尾・平林)
昭和51年(京都)
(後藤・宿理・上寺喜・上寺勝
赤嶺秀・川野・石井)
- ◎九州高校陸上
昭和45年(唐津)1500m 優勝 矢野義
昭和49年(熊本)5000m 第3位 相良和
昭和55年(鹿児島)1500m 第3位 水呉
5000m 第3位 後藤芳
昭和56年(佐賀)1500m 第2位 後藤芳
5000m 優勝

- ◎九州陸上選手権
昭和45年(鹿児島)800m 優勝 矢野芳
昭和52年(宮崎)5000m 第3位 後藤英
- ◎インターハイ
昭和43年()1500m 障害 井上文
(旧模川)
昭和45年(和歌山)800m 第5位 矢野義
昭和51年(長野)1500m 障害 川野邦
昭和53年(福島)5000m 姫嶋
1500m 本郷
昭和54年(大津)1500m 障害 井上浩
昭和55年(松山)5000m 第8位 後藤芳
1500m 水呉
昭和56年(横浜)5000m 第2位 後藤芳
昭和57年(鹿児島)1500m 障害 姫嶋政
- ◎国体
昭和54年(宮崎)少年A3000m
第2位 後藤芳
昭和55年(栃木) 後藤芳
昭和56年(滋賀)5000m 優勝 後藤芳
(全国高校新記録)
昭和57年(松江)少年A300m 藤田幸

相撲部



▲昭和42年度、全国高等学校相撲選手権大会(福井県大野市)にてみごとに団体優勝した選手達

- ◎全九州高校相撲大会 団体戦
昭和34年 第12回大会優勝 (熊本)
昭和36年 第14回大会優勝 (唐津)
昭和37年 第15回大会優勝 (諫早)
昭和42年 第20回大会優勝 (宇佐)
昭和44年 第22回大会優勝 (唐津)
昭和47年 第25回大会優勝 (八代)
昭和48年 第26回大会優勝 (甘木)
昭和50年 第28回大会優勝 (有田)
- ◎全国高校相撲東西対抗大会
個人戦
昭和37年 優勝 今富 清 (伊勢)
昭和30年 優勝 野仲 功一 (伊勢)
昭和45年 優勝 山口 久 (伊勢)
- ◎国民体育大会
団体戦
昭和40年 優勝 (岐阜)
- ◎全国選抜高校相撲宇佐大会
団体戦
昭和34年 第4回大会 第2位
昭和40年 第10回大会 優勝
昭和49年 第18回大会 第3位
昭和50年 第19回大会 優勝
- ◎全国高校選手権大会(インターハイ)
団体戦
昭和36年 第14回大会優勝 今富 清
昭和42年 第20回大会優勝 石川清次郎
昭和44年 第22回大会優勝 山口 久
昭和45年 第23回大会優勝 山口 久
昭和56年 第34回大会優勝 竹内 和久
- ◎全国選抜高校相撲高知大会
個人戦 昭和37年 第14回 優勝 今富 清 (高知)
昭和45年 第21回 優勝 山口 久 (高知)
- ◎全国選抜高校相撲長門大会
団体戦
昭和37年 優勝 (長門市)

●このほか、体育系の部として、バレーボール・卓球・応援の各部があり、各種大会で大いに活躍し、幾多の活躍の成果をあげている。

●文化系の部として現在、科学・工業クラブ・弁論・新聞・JRC・放送の各部が置かれており、各種発表大会に参加、優秀な成績をおさめた部や、活動成果を認められ、感謝状を授与された部もある。